

12月定例会のあらまし

平成28年第4回定例会は12月2日から22日まで21日間の会期で開催し、報告7件、議案42件、発議案7件が提案されました。

一般質問には議員20名が登壇し、市長及び教育委員長等の考えを質しました。

議案審議では、平成28年度一般会計補正予算や常盤地区センターをはじめとする市内施設の指定管理者の指定等を審議し、いずれも原案通り可決しました。

また、今定例会に提出された請願および陳情8件は、それぞれ所管する常任委員会に付託し審査をした結果、2件を継続審査とし、他の請願6件は採択しました。

推進

◎ これまでの主な検討項目

<議会改革検討委員会>

- ・ 議会資料のタブレット化
- ・ 政務活動費の増額

<議会運営委員会>

- ・ 本会議への出席要請
- ・ 申し合わせ事項の見直し

◎ 今後の主な検討項目

- ・ 通年議会
- ・ 議決事項の拡大
- ・ 議員報酬の見直し

議会改革 検討委員会

議会運営 委員会

議会改革

24項目を検討

奥州市議会基本条例に基づき、議会の活性化と公平性、透明性及び信頼性の確保を目指し、平成22年12月に議会改革検討委員会規程を定め、平成26年3月の改選後においても同年11月に議会改革検討委員会（委員長・佐藤邦夫議員、10名で構成）を設置しました。

検討項目は、各党派から提出された

15項目を短期・中期・長期に区分し、議会運営に関わるもの9項目については、議会運営委員会（委員長・阿部加代子議員、委員10名）において検討を進めてきました。

今後も更なる議会の活性化及び市民に開かれた議会の実現に向けて、より一層の取り組みを進めてまいります。

議会広報 編集委員会

情報発信 の拡大を

議会活動に関する情報公開の徹底と市民に対する説明責任を十分に果たすために、各種媒体を活用した情報発信の拡大を検討しています。今後、議会広報編集委員会での役割を担い、①フェイスブック、ツイッターの開設、②奥州エフエムの活用に取り組んでいきたいと考えています。

平成29年度から タブレット端末を導入へ

議会改革検討委員会にて検討が進められてきた「議会資料のタブレット化に係るペーパーレス会議システムの導入について」は、平成29年度から市当局も含めて導入する方向で協議が進められています。

タブレット端末の導入により、情報伝達の迅速化と情報共有、資料の携帯及び閲覧が容易になることをはじめ、ペーパーレス化による消耗品や外注印刷代、人件費等で年間約360万円の経費削減等の効果が期待されます。



タブレット端末の導入に向け八戸市議会を視察（平成28年2月）